

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無斷転載禁止

レジメン番号： SCLC-104

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
小細胞 肺がん	CDDP+AMR	21日間	4~6コース	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Ann Oncol 16: 430-36, 2005 J Clin Oncol 24: 5448-53, 2006

### 〈注意事項/備考〉

- ✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
  - ✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
  - ✓ CDDP：アミノグリコシド系抗菌薬の併用で腎機能障害のリスク増大。尿量、体重の変化に注意し、必要に応じて利尿薬などを検討
  - ✓ 聴力障害（CDDP）：総投与量300mg/m<sup>2</sup>以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑
  - ✓ AMR：他のアンスラサイクリン系抗がん剤を限界量使用している場合には注意（心筋障害発現の可能性あり）

✓

---

:»

—